

## 京田辺市次世代育成支援行動計画(平成23年度)に係る成果と課題

### 1. 後期計画事業について

後期計画は平成22年度から26年度の計画で、平成23年度は、進捗管理をする二年目となる。基本理念の実現に向けて、3つの基本目標、8つの施策目標を定め、38の基本施策分野で164事業を展開している。

その中で、新規事業(★)が5、拡充事業(☆)が26ある。

事業数		平成23年度に取り組んだ事業
新規事業(★)	5事業	4事業
拡充事業(☆)	26事業	25事業
計画外事業	平成22年度以降の新規・拡充事業(*) 4事業	4事業

### 2. 成果

この計画における、基本目標ごとの主要な成果は以下のとおりである。

#### 【基本目標1】 「子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり」

この分野では、不妊治療の助成事業の拡充や子育て支援医療など医療体制の充実を図るとともに、「親(保護者)の支援」として、通常保育や延長保育、幼稚園教育等基本となる事業を確実に実施し、その上で、子育てをするすべての人を対象とした子育て支援事業を展開してきた。特に子育てに係る意識啓発及び情報提供の充実を図り、子育て家庭への情報提供が図れた。

また、京田辺市健康増進計画・食育推進計画の策定に伴い健康づくりや食に関する子どもをとりまく課題と取り組みの方向性が示されたことから、次代の親となる子どもに対して、健康づくりを横断的に取り組むことが期待できる。

## 【基本目標2】 「子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり」

この分野では、「子ども支援」として、地域子育て支援センター等での相談事業や小中学校での教育相談など、心身を健やかにはぐくむための相談事業や学校等の施設環境整備を実施し、子どもを健全に育成するための環境づくりの事業の充実が図れた。

## 【基本目標3】 「子どもが安心して暮らし、育つことのできる環境づくり」

この分野では、「親・子どもを取り巻く環境整備」として、市民が中心となって活動できるように、子育て家庭にやさしいまちづくりの環境施策の推進が図れた。また、事業外の計画では、親や子どもたちの安心・安全の生活環境の確保のための取り組みが進められた。

### 3. 課題

- ①都市化、就学前の転入世帯が多く、孤立化など地域とのつながりが希薄になり、地域や家庭の子育て力が低下してきている。特に、子育て中の母親の子育てに対する不安感、負担感の増大の解消のため、親支援のための子育て支援が必要であり、また、地域における子育て支援活動の支援をするとともに、世代間交流・親同士の交流を推進し地域で子育てができるような地域力を高める体制づくりが必要。
- ②仕事と子育ての両立支援及び子どもの虐待防止対策として子育て短期支援事業や病児保育など育児負担の軽減を図る。
- ③思春期に重点をおいた、性教育・乳幼児とのふれあい事業の充実・継続実施することで次世代の親育成を図る。
- ④食育については各事業の実施は一定図れているが、各事業間でのつながりや、また、家庭、学校、地域が相互に連携し、横断的かつ、継続的にすすめる体制づくりの強化が重要。